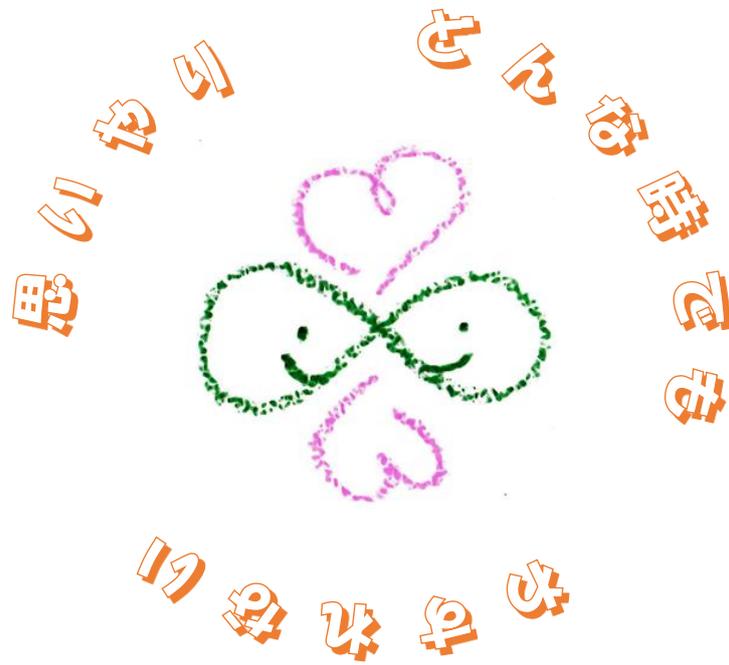


平成 27 年度

事業報告書



おわせ社協ロゴマーク

“わごころ”

社会福祉法人 尾鷲市社会福祉協議会

平成27年度

尾鷲市社会福祉協議会

理 念

尾鷲市のだれもが安心して生活できるまちづくりを
すすめていく

職員心得

- 笑顔であいさつ
- 責任ある行動
- 思いやりを持って接する

目次

I. 企画調整部門

1. 総務係..... 1
2. 地域福祉係..... 8

II. 総合相談・支援部門

1. 地域包括支援センター..... 21
2. 紀北地域障がい者総合相談支援センター..... 27

III. 介護サービス部門

1. 居宅介護支援事業所..... 35
2. 訪問介護事業所..... 37
3. 訪問入浴事業所..... 41
4. 輪内通所介護事業所..... 42
5. 尾鷲通所介護事業所..... 44

IV. 輪内高齢者サービスセンター

1. 輪内高齢者サービスセンター..... 46

I. 企画調整部門

1. 総務係

1. 会務の運営

適正な法人運営と円滑な事業推進を図るため、次のとおり役員会等を開催した。

(1) 理事会

第1回 平成27年5月28日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 8名

- 平成26年度事業報告書(案)について
- 平成26年度決算報告書(案)について
- 平成27年度第1回補正予算(案)について
- 定款の一部改正(案)について
- 評議員の一部改選(案)について

報告 役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改定について

第2回 平成27年10月29日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 10名

- 平成27年度第2回補正予算(案)について
- 職員給与規程の一部改正(案)について
- 評議員の一部改選(案)について

報告 嘱託職員の雇用に関する就業規則の一部改正について

第3回 平成28年3月24日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 12名

- 平成28年度事業計画書(案)について
- 平成28年度当初予算(案)について
- 平成27年度第3回補正予算(案)について
- 評議員の一部改選(案)について
- 評議員の選任(案)について
- 職員給与規程の一部改正(案)について

報告 特定個人情報取扱規程について

(2) 評議員会

第1回 平成27年5月28日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 26名

- 平成 26 年度事業報告書(案)について
- 平成 26 年度決算報告書(案)について
- 平成 27 年度第 1 回補正予算(案)について
- 定款の一部改正（案）について
- 理事の一部改選（案）について

第 2 回 平成 27 年 10 月 29 日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 24 名

- 平成 27 年度第 2 回補正予算(案)について
- 職員給与規程の一部改正（案）について

報告 嘱託職員の雇用等に関する就業規則の一部改正（案）について

第 3 回 平成 28 年 3 月 24 日 尾鷲市福祉保健センター 出席者 21 名

- 平成 28 年度事業計画書(案)について
- 平成 28 年度当初予算(案)について
- 平成 27 年度第 3 回補正予算(案)について
- 理事の選任（案）について
- 職員給与規程の一部改正（案）について

報告 特定個人情報取扱規程について

(3) 監事監査

- ① 平成 27 年 5 月 13.14 日 尾鷲市福祉保健センター 監事 2 名
平成 26 年度の事業及び決算についての監査
- ② 平成 27 年 11 月 25 日 尾鷲市福祉保健センター 監事 2 名
平成 27 年度 4 月~9 月 定期会計監査

(4) その他の監査

- ① 平成 28 年 1 月 15 日 財政援助団体等監査(尾鷲市監査事務局)

2. 事務局体制の強化

(1) 職員体制の配置

平成 28 年度事業強化に備え、採用試験および登用試験を行った。

- 採用者数 正規職員 1 名、嘱託職員 3 名
- 登用者数 正規職員 1 名 嘱託職員 1 名
(参考:平成 27 年度退職者 嘱託 2 名)

・適正な人事異動の実施

(2) 福祉関係資格取得奨励及び各種研修会への参加

① 資格取得の状況(新規)

社会福祉士 1名、介護福祉士 1名、社会福祉主事 1名

② 研修会への参加と開催

県社協の実施する役職員セミナーや専門、職種別研修会に積極的に参加した。社会福祉従事者としての自覚、使命感を育て問題解決能力を養うための自己啓発の促進として、下記の経験や役職に応じた体系的な研修に参加した。

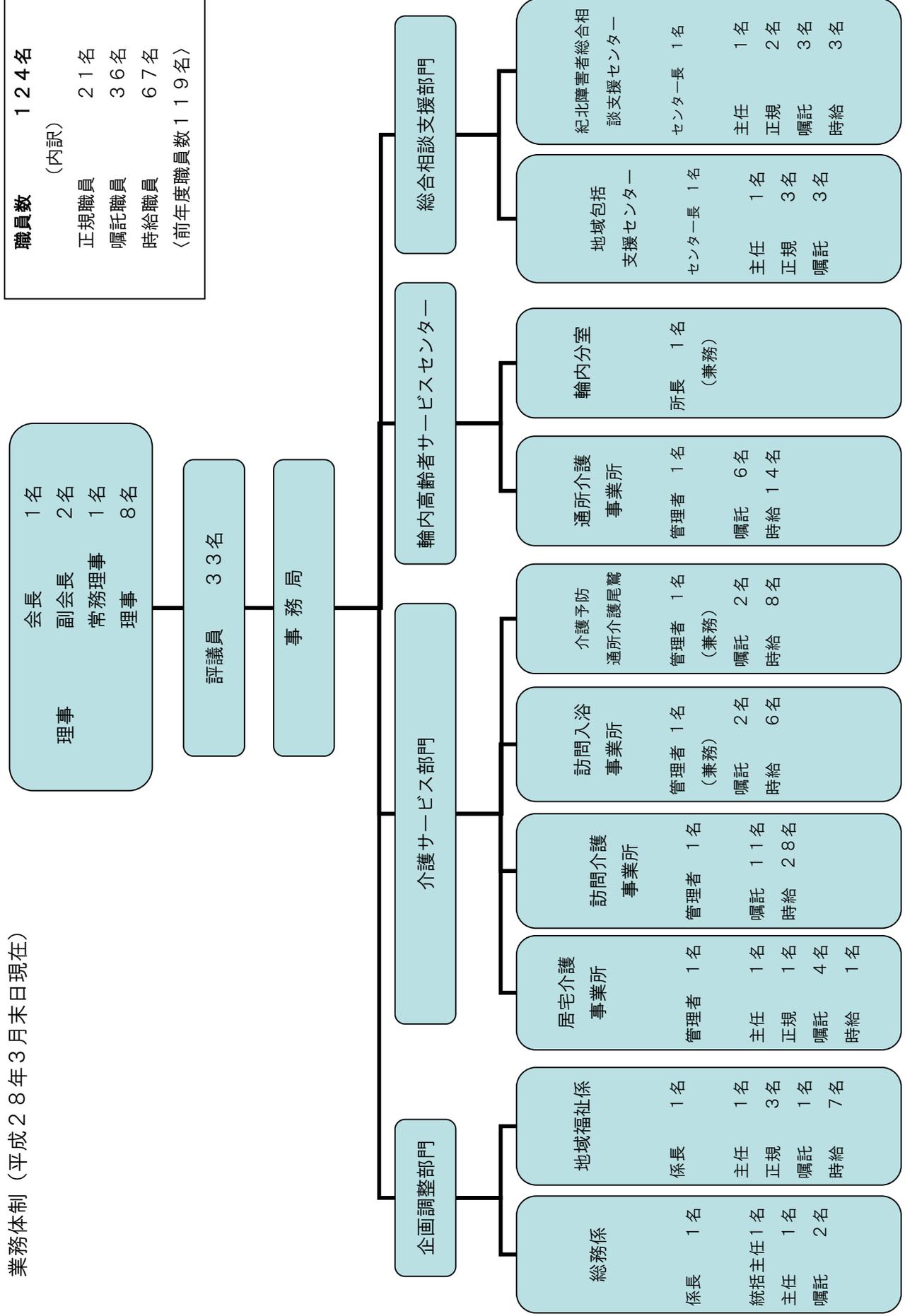
- 指導的職員研修Ⅰ 1名
- " Ⅱ 2名
- 中堅職員研修Ⅲ 2名

(3) 活動基盤の改善・充実

① 定款の一部変更

② 職員給与規程の改正

平成27年度 尾鷲市社会福祉協議会
業務体制（平成28年3月末日現在）



3. 災害時における避難者安全確保体制

(1) 避難所開設

福祉保健センターを台風による避難所として開設し、社協職員で対応した。

日時：平成27年7月16・17日 台風11号 避難者:4名

日時：平成27年9月8・9日 台風18号 避難者:4名

(2) 避難防火訓練の実施

日時：平成27年7月30日

平成28年1月29日

内容：避難誘導訓練、通報訓練、初期消火訓練



4. 地域福祉財源の確保

(1) 補助事業・委託事業などの公的財源の確保

(2) 自主財源の確保

① 善意銀行の運営

市民の善意により、現金物品が寄贈された。

【現金】	一般預託	17件	694,237円
	指定預託	2件	150,000円
	合計	20件	844,237円

※前年度合計 20件 830,000円

【物品】 車輛

5. 福祉団体活動支援

(1) 老人クラブ活動の推進と支援

老人の健康、生きがいなどの福祉の向上を図るとともに 社会奉仕活動への積極的な参加促進を支援した。

① 老人クラブ連合会活動の支援

29クラブ・会員数 1,494名

② 老人の社会奉仕活動への参加促進の支援

③ 高齢者友愛訪問活動への支援

④ 尾鷲市福祉保健センターを活用した各種講座の開催

年度	講座数	延べ参加人数
----	-----	--------

平成25年度	10	3,699
平成26年度	10	3,440
平成27年度	10	3,035

(2) 遺族会の支援

遺族会活動の支援と尾鷲市戦没者追悼式を共催した。

尾鷲市戦没者追悼式 尾鷲市との共催

日 時：平成 27 年 5 月 31 日

場 所：尾鷲市民文化会館

参列者：250 名

6. 苦情解決事業の推進

苦情解決体制の一層の充実を図り、第三者委員をはじめ地域住民からの苦情を汲み上げるとともに、苦情に対する職員の意識を高め、サービスの質の向上に取り組んだ。

(1) 苦情解決体制の構築

苦情解決責任者の設置 事務局長

苦情受付担当者の設置 総務係長

第三者委員の設置 3 名委嘱

(2) 苦情内容・苦情総数

単位・件

苦情の内容	平成 27 年度	前年度
ケアの内容に関わる事項	0	0
個人の嗜好・選択に関わる事項	0	0
財産管理・遺産・遺言等	0	0
制度・施策に関わる事項	0	0
その他(職員の言動・交通マナー)	0	0
本会以外への苦情等	0	0
合 計	0	0

7. 尾鷲市福祉保健センターの管理運営

(1) 利用促進と効果的な運営

福祉・保健活動の拠点として研修会や交流、市民の社会参加の場として市民が利用しやすい環境を整備し、管理運営を適切に行った。

8. ご当地キャラクター制作事業（新規）

地域福祉基金を活用し、福祉の啓発と尾鷲市の PR を目的としてご当地キャラクターを制作した。尾鷲市、尾鷲商工会議所、尾鷲観光物産協会の協力を得て実施した。



(1) 制作過程

- 6～7月 各機関への協力依頼、公募・報道準備
- 8月 デザイン公募（応募数 221点）
- 9月 デザイン選考会により5作品選出
- 10月 デザイン投票実施（※）（投票数 2,488票）
- 11月 投票結果発表（最優秀賞1名 優秀賞4名）
愛称募集実施（応募数 724点）
愛称選考会（「尾鷲よいとこ ヤーヤにゃん」に決定）
着ぐるみ制作発注
- 12月 愛称発表
- 2月 着ぐるみ完成
「尾鷲よいとこヤーヤにゃん」お披露目会（イタダキ市）
イラストポーズ制作発注
- 2～3月 小学校などへのお披露目挨拶、市内イベントへの参加
（計16か所で活動）
- 3月 各種規程・申請書等の作成（イベント出演、着ぐるみ貸出、イラスト使用）

（※）市内10企業から協賛を受け、投票者の中から抽選で協賛品を贈呈。

(2) 事業費

総事業費 1,492,905円

（内訳）

- | | |
|-----------|----------|
| • 着ぐるみ制作費 | 828,360円 |
| • イラスト制作費 | 108,000円 |
| • デザイン賞金等 | 63,000円 |
| • ショーケース | 330,000円 |
| • その他 | 163,545円 |

(3) 今後の展開

イベント出演、着ぐるみ貸出、イラスト活用など、幅広く福祉の啓発や尾鷲市の PR のために活用していく。また他機関との提携によるグッズ制作・販売なども検討する。運営は各係から選出された実行委員を中心に、イベント出演などは、職員から協力者を募って活動する。

2. 地域福祉係

1. 総合相談

(1) 総合相談事業

① 総合相談事業

「だれもが安心して生活できるまちづくり」の理念のもと、市民の困りごとに対し、各係や関係機関と連携した相談対応を行った。

(ア) 相談実績について

実相談件数：74件（相談者の属性や内容に重複あり）

単位：件

単位：件

属性	件数
低所得者	35
高齢者	19
障がい者	12
その他	8

相談内容	件数
自立生活に関すること	31
貸付に関すること	24
借金・滞納に関すること	8
成年後見制度に関すること	8
日常生活自立支援事業の利用	6
虐待・権利侵害に関すること	3
生活支援に関すること	9
地域・人間関係に関すること	5
仕事に関すること	5
その他	8

② 相談事例勉強会の開催

各係の相談事業担当職員による勉強会を開催

開催日 平成28年3月15日（参加：16名）

内容 相談援助事例を用いた事例検討

2. 生活再生相談（生活困窮者自立支援事業） 市受託事業

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

① 相談窓口の設置

- (ア) 実相談件数 : 32 件
 (イ) 支援計画策定件数 : 12 件
 (ウ) のべ対応件数 : 287 件 (支援申込み前含む)

単位：件

対応内容	件数
電話相談	78
訪問・同行支援	42
面談	77
所内会議	1
支援調整会議（プラン策定・評価）	19
その他関係機関との会議	4
関係機関との照会・協議	62
その他	4

② 支援体制の構築

(ア) 制度についての周知啓発

- 広報紙等を活用した周知啓発
- リーフレットの作成および配布
- 支援関係者に向けた周知啓発
 - 民生委員児童委員協議会定例会での啓発（平成 27 年 9 月 16 日）
 - 尾鷲市社会福祉協議会職員研修（平成 27 年 9 月 15 日）
 - 紀北地区社会福祉士会研修会（平成 27 年 12 月 9 日）

(イ) 関係機関との連絡会議

- 市関係各課との連絡会議（平成 27 年 10 月 22 日）
- ハローワーク尾鷲との連絡会議（平成 28 年 3 月 15 日）

(ウ) 支援調整会議（開催回数：7 回）

(2) 家計相談支援事業

① 相談窓口の設置

- (ア) 実相談件数：38 件
 (イ) 支援決定（計画策定）件数：11 件

② 支援体制の構築

(ア) 制度についての周知啓発

- リーフレットの作成および配布
- ライフライン事業者への訪問
- 支援関係者に向けた対象者検討会の実施
 （平成 27 年 10 月 22 日・平成 28 年 3 月 15 日）

3. 生活資金貸付事業

(1) 生活福祉資金（実施主体：三重県社会福祉協議会）の貸付状況

- ① 平成 27 年度中の完済件数 3 件
 - 教育支援資金・支度費 2 件
 - 緊急小口資金 1 件
- ② 平成 27 年度中の新規契約件数 2 件
 - 福祉費（療養介護費） 1 件
 - 緊急小口資金 1 件
- ③ 継続返済件数 10 件
 - 教育支援費（就学支度資金を含む） 6 件
 - 福祉費（障がい者自動車購入費） 1 件
 - （障がい者住宅改修費） 1 件
 - 技能習得費 1 件
 - 緊急小口資金 1 件

(2) 福祉金庫緊急一時貸付金の貸付状況

- ① 平成 27 年度中の完済件数 5 件（前年度 9 件）
- ② 平成 27 年度中の新規貸付数 6 件
- ③ 期限内返済中及び滞納者の状況

単位：人

償還の状況	人数
返済中・滞納者数	26
定期的に返済している方	4
不定期であるが、返済をしている方	2
今年度全く返済実績のない方	20

(3) 緊急食糧等支給事業

食糧・紙おむつなどを緊急に要する困窮者世帯に支給した。 6 件

4. 権利擁護事業

(1) 日常生活自立支援事業

「きほく日常生活自立支援センター」に名称を変更した。紀北地域（尾鷲市・紀北町）を対象とする基幹的社協として、2 市町の地域包括支援センター、障がい者総合相談支援センター及び関係機関と連携を取り、積極的な対応を心掛けた。利用者と信頼関係の構築を継続し、安心できる適切な金銭管理・書類預かりサービスを実施した。

平成 27 年度実績

単位：件

	認知症	知的	精神	その他	合計	前年度

	高齢者	障がい者	障がい者			
相談件数	208	167	587	112	1,074	1,197
新規契約	2	1	0	0	3	6
解約件数	2	2	0	2	6	6

利用者数

単位：件

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	前年度
利 約件数	6	18	8	6	38	35

利用者地区

単位：件

	尾鷲市	紀北町	その他	合計
契約件数	17	20	1	38

(2) 法人後見・サポート事業

認知症や知的障がい、精神障がいなどが原因で判断能力が低下し、家庭裁判所によって成年後見等開始の審判が下りた方の成年後見人等を社会福祉法人として受任、後見業務を行った。

【制度の利用に関する相談】 8件（うち申立て支援3件）

【受任件数】

単位：件

	認知症 高齢者	知的 障がい者	精神 障がい者	その他	合計	前年度
新規受任	0	0	0	0	0	0
既受任	1	0	0	0	1	1
終了件数	0	0	0	0	0	0
累計件数	1	0	0	0	1	1

5. 小地域福祉活動

(1) 地域座談会・地域協議の推進

地区福祉委員会が未結成ではあるが、民生委員児童委員や有志の協力者が訪問活動を実施している3地区（中井・港・北浦）が合同で、地域協議体制について住民懇談会を開催した。新たな地区福祉委員会（なみき地区福祉委員会）の結成に繋がり、地域福祉活動を支援した。

① 北浦・中井・港 地区福祉組織設立準備会

開催日：平成 27 年 7 月 31 日・8 月 18 日・平成 28 年 2 月 10 日

場 所：尾鷲市福祉保健センター

内 容：有志による当該地区での取り組み状況

地区福祉組織について、地区福祉組織体制（案）について

参加者：北浦・中井・港町の自治会、老人クラブ、民生委員児童委員

② 『なみき地区福祉委員会』結成総会

開催日：平成 28 年 3 月 28 日

場 所：尾鷲市福祉保健センター

内 容：地区福祉委員会について

なみき地区福祉委員会について

結成の賛否確認

参加者：北浦・中井・港地区の自治会、

老人クラブ、民生委員児童委員

協力者など 16 名



（ 結成総会 ）

(2) 地区福祉委員会の活動支援

① 代表者会議の開催

地区福祉委員会同士の情報交換をはじめ、活動上の困り事や地域の問題などについて話し合う代表者による懇談会を開催した。

開催日：平成 27 年 8 月 24 日

場 所：尾鷲市福祉保健センター

内 容：地域における協議の場づくりについて、視察・研修会ほか

参加者：12 名

② 研修会の開催

介護保険制度改正にともなう福祉サービスの変化を学び、地域における住民協議のしくみづくりについての研修会を開催した。

開催日：平成 28 年 2 月 23 日・29 日

場 所：三木里コミュニティセンター・尾鷲市福祉保健センター

内 容：松阪視察研修報告

「既存の福祉制度でできること、できないこと」

ワークショップ「みんなで考えるこれからのまちづくり」

講 師：尾鷲市地域包括センター 松島貴美

尾鷲市福祉保健課 世古雅弘

参加者：56 名

③ 視察研修の開催

松阪市徳和・神戸地区の住民協議会を訪問し住民協議体制を視察し研修、および親交を深める交流会を開催した。

開催日：平成 27 年 11 月 16 日

内 容：住民協議体制の説明・交流会

参加者：各地区福祉委員 24 名



④ 助成金の交付

地域福祉の増進を目指し、地区福祉委員会の活動継続を促進するため 17 地区に助成金を交付した。

(ア) 基本助成：1 地区 2 万円を上限に 34 万円

(イ) 活動助成：前年度募集の賛助会費の 50%として 619,284 円

(ウ) 事業助成：あったかふれあい訪問活動、高齢者ふれあいサロン、
など実績に基づき 154 万 7 千円

6. ボランティア・市民活動センター事業

(1) ボランティア・市民活動センターの効果的な運営

① 市内ボランティア・市民活動団体への情報提供

② コーディネーターによるボランティア相談支援

③ ボランティア活動保険および行事用保険加入手続きと保険料の一部を助成した。

- ボランティア活動保険 加入件数 792 名
- ボランティア行事用保険 延べ 46 団体、69 事業開催

④ ボランティアグループの活動増進のために助成した。

- 2 万円を上限に 11 団体 21 万円

(2) 災害ボランティアセンター事業

① 災害ボランティアセンター設置協定に向けた協議および研修会

尾鷲市民生委員児童委員協議会、尾鷲市自治会連合会、尾鷲市自主防災会、尾鷲市区長会をはじめ、尾鷲市関係各課を交え、大災害が発生した場合の災害ボランティアセンターの設置について協議した。

(ア) 第 1 回関係者協議 平成 27 年 8 月 6 日

内容：尾鷲市における災害ボランティアセンターの設置について

(イ) 第 2 回関係者協議 平成 27 年 9 月 24 日

内容：他市町の災害ボランティアセンター運営

講師 熊野市社会福祉協議会 栗須紀之 氏

紀宝町社会福祉協議会 鈴木生子 氏



第1回関係者協議

第2回関係者協議（研修）

② 関係団体との調整

（ア）ボランティアセンターサテライト候補地の選定

（イ）尾鷲市自治会連合会役員会での説明

③ 災害ボランティアに関する啓発

（ア）災害ボランティア設置運営訓練

開催日：平成27年10月31日

内 容：早田地区にてボランティアの協力のもと設置運営訓練

（イ）尾鷲市防災フェアへの出展

開催日：平成27年11月28日

内 容：尾鷲小学校校庭にて災害ボランティアについて啓発



設置運営訓練（早田町）



尾鷲市防災フェア

7. 子育て・児童福祉

(1) 子育て支援事業

各関係機関との情報共有と協働を図り、地域の子育て世代の住みやすいまちづくりを目的に実施した。

① 子育てグッズ「無料レンタル」事業

チャイルドシート、ベビーカー、ベビーベッドを貸出した。

新規貸出件数：64件（前年度 54件）

② 子育てグッズ「リサイクル」事業

自宅で不要になった物品の仲介を行った。

リサイクル物品提供件数：18件（前年度 12件）

- ③ 児童交流室の自由解放と子育て情報の発信を行った。
- ④ こどもの日すこやか事業
 保育園・幼稚園児に子供の日の菓子を贈呈した。
 対象児童 464 名（前年度 476 名）
- ⑤ 小学校卒業記念品贈呈事業
 一人親家庭の小学校卒業生に卒業記念品として図書券を贈呈した。
 対象児童 22 名（前年度 23 名）

8. 尾鷲市福祉保健センター運営

福祉・保健活動の拠点として研修会や交流、市民の社会参加の場として市民が利用しやすい環境を整備し、管理運営を適切に行った。

(1) 年間利用実績

- ① 延べ利用回数 3,154 回（前年度 3,043 回）
- ② 延べ利用者数 62,127 人（前年度 56,792 人）

9. 地域ふれあい事業（高齢者）

(1) おしゃべりほのぼのサロン

高齢者の生きがいづくり・見守り支援を目的とした高齢者サロンを当会職員とボランティアの協力で実施した。

延べ参加人数実績 (単位：人)

地区 人数	尾鷲 (第1週)	尾鷲 (第3週)	九鬼	早田	須賀利	合計
参加人数	77	96	87	68	50	378
前年度人数	70	71	95	80	63	379

(2) 高齢者ふれあいサロン・あったかふれあい訪問活動

地区福祉委員会による地域住民主体の高齢者サロンと見守りを目的としたあったかふれあい訪問への助言と助成金の支援を実施した。

各地区の年間活動実績

(単位：回／人)

地区福祉委員会	ふれあい訪問		ふれあいサロン		世代間交流	
	回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
三木浦	5	856	3	49	3	289
賀田	1	71	—	—	—	—
矢浜	2	350	—	—	—	—

倉ノ谷	2	142	2	73	1	45
中村町	4	298	—	—	—	—
三木里	3	243	—	—	—	—
古江	4	469	1	46	—	—
梶賀	3	150	1	37	—	—
坂場	4	327	—	—	—	—
曾根	2	98	1	50	—	—
九鬼	1	181	2	157	—	—
宮ノ上・座ノ下	2	129	3	76	4	86
泉	3	125	—	—	—	—
早田	5	276	3	59	—	—
須賀利	2	179	—	—	1	52
野地町	2	69	2	50	—	—
新田	4	312	—	—	—	—
【未結成地区】						
中川	1	100	—	—	—	—

今年度	訪問	18 地区	延べ 50 回	延べ 4,375 名
	サロン	9 地区	延べ 18 回	延べ 597 名
	世代間	4 地区	延べ 9 回	延べ 472 名
前年度	訪問	21 地区	延べ 52 回	延べ 4,131 名
	サロン	10 地区	延べ 22 回	延べ 742 名
	世代間	4 地区	延べ 8 回	延べ 398 名

- (3) 友愛訪問活動（尾鷲市老人クラブ連合会実施主体）へ助成金を支援した。
訪問人数 448 名（前年度 520 名） 20 万 3 千円

10. 地域ふれあい事業（ 障がい者 ）

(1) 尾鷲市ふれあいスポレク祭 2015 の開催

障がいの有無に関わらず、参加者がレクリエーションを通して交流を深めることを目的に、関係機関やボランティアと協働で実施した。

開催日：平成 27 年 10 月 24 日

場 所：東紀州くろしお学園おわせ分校体育館

参加者：約 350 名

(2) 障がい者団体への活動支援

- ① 尾鷲市身体障がい者互助会の事務局として会務の運営を行った。

② 第 61 回三重県身体障害者福祉大会を紀州ブロックで共同開催を行った。

③ 障がい者交流会など当事者団体への活動助成を行った。 5 万円

11. 地域ふれあい事業（ 世代間交流 ）

子どもたちが心豊かに育つ一助となること、世代間交流を目的に、次の事業を開催した。地域住民との協働を意図し、個人ボランティアや中学生、高校生ボランティアとともに実施した。



(1) おわせ社協こども講座

開催日：平成 27 年 8 月 5 日

参加者：小学生 16 名

内 容：手話体験教室

(2) 子ども映画上映会の開催

開催日：平成 27 年 7 月 29 日

参加者：200 名

内 容：映画「おさるのジョージ」・ボランティアによる模擬店

ボランティア：高校生 25 名

(3) 親子もちつき大会&リトミック

開催日：平成 27 年 12 月 12 日

参加者：乳幼児・保護者 計 49 名

内 容：親子リトミック

親子もちつき大会

ボランティア：中学生 12 名

婦人会 8 名



(4) 世代間交流事業助成事業の実施

自治会が地域で実施する世代間交流事業に助成を行った。

対象自治会数 3 団体 （前年度 5 団体） 7 万 5 千円

12. 福祉教育事業

(1) 福祉協力校の指定と助成

福祉協力校〈小学校 7 校、中学校 2 校、高校 1 校、特別支援学校 1 校〉を指定し、各学校の福祉教育の充実を図るために助成を行った。

（1 校 5 万円を上限に、10 校に 50 万円を助成）

(2) 福祉協力校との懇談

各学校を訪問し、福祉教育担当者と懇談、情報交換を行った。

(3) 福祉体験教室の開催

福祉体験教室の開催や、福祉教育授業への支援を行った。

内 容：ユニバーサルデザイン教育及び福祉保健センター見学
福祉教育授業への講師紹介

実施校：尾鷲小学校、矢浜小学校



(4) 福祉作品コンクールの実施

福祉教育の一環として、小・中学校生を対象に、福祉をテーマにした標語を募集した。福祉関係者の協力を得て審査を行った。入賞作品は尾鷲市社会福祉大会にて表彰し、福祉の啓発を行った。

13. 相談援助実習

社会福祉士資格取得のための実習生 2 名を受け入れ実習指導を実施した。

14. 広報・啓発事業

(1) 尾鷲市社会福祉大会の開催

尾鷲市の福祉に貢献された方を顕彰し、福祉の啓発と活動の周知を行った。

開催日：平成 27 年 12 月 5 日

場 所：尾鷲市中央公民館

参加者：約 150 名

内 容：第一部 顕彰

- ・ 尾鷲市市長表彰 7 名、1 団体
- ・ 尾鷲市社会福祉協議会会長表彰 11 名

第二部 福祉作品コンクール表彰及び実践発表

- ・ 福祉作品コンクール（標語） 23 名

実践発表①『気になる子どもの保育を考える』

社会福祉法人尾鷲民生事業協会 坂口小夜子氏

実践発表②『保護司って何をする人ですか？』

尾鷲保護区保護司会 濱中良平氏

(2) 各種表彰推薦

全国社会福祉協議会会長表彰に当会役員を 1 名推薦し顕彰された。

(3) 広報誌「おわせ社協」の発行

事業の周知と福祉の啓発を目的に、全世帯に向けた広報誌を年間 4 回（5 月・7 月・10 月・3 月）発行した。

15. 社協賛助会員制度

会員制度による住民参加、地域福祉活動の充実を目標に、当会役員、民生委員児童委員、地区福祉委員会などとの連携により、賛助会費の募集を行い地域福祉活動の財源確保に努めた。

単位：円／件

	平成 27 年度		前年度		前年比較	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
賛助会員	1,419,000	1,324	1,429,568	1,325	▲10,568	▲1
特別会員	306,000	41	300,000	41	6,000	0
住民会員	0	0	0	0	0	0
総数	1,725,000	1,365	1,729,568	1,366	▲4,568	▲1

16. 赤い羽根共同募金運動

(1) 募金運動の実施

民生委員児童委員、自治会、婦人会など多くの関係者の協力を得て募金活動を実施した。

① 一般募金運動（強化月間：平成 27 年 10 月 1 日より 2 ヶ月間）

募金実績

単位：円

	平成 27 年度	前年度	前年比較
目標額	3,371,900	3,381,800	▲9,900
実績額	3,007,849	3,253,396	▲245,547
達成率	89.2%	96.2%	7.0%

募金種別による内訳

単位：円／件

	平成 27 年度		前年度		前年比較	
	金額	件数	金額	件数	金額	件数
戸別募金	1,950,973	4,170	2,139,377	4,582	▲188,404	▲412
法人募金	687,780	111	710,000	115	▲22,220	▲4
街頭募金	63,840	5	72,963	5	▲9,123	0
学校募金	82,332	9	39,517	5	42,815	4
職域募金	112,408	20	134,891	18	▲22,483	2
イベント募金	41,850	7	73,425	7	▲31,575	0
ハートフルベンダー	9,907	1	10,783	1	▲876	0
募金箱・その他	58,759	46	72,440	64	▲13,681	▲18
合計	3,007,849	4,369	3,253,396	4,797	▲245,547	▲428

17. 日本赤十字社事業および社資増強運動（日赤募金）

(1) 社資増強運動（日赤募金）の実施

日赤奉仕団（尾鷲市連合婦人会）、自治会、各協力団体の協力を得て、募金運動を実施した。

① 募金実績（平成 27 年度 5 月 1 日より 1 ヶ月間実施）

	平成 27 年度	前年度	前年比較
目標額	2,964,000 円	3,016,000 円	▲ 52,000 円
実績額	2,579,853 円	2,627,516 円	▲ 47,663 円
達成率	87.0%	87.1%	▲ 0.1%

(2) 赤十字義援金および緊急物資の取り扱いと配布

① 国内外の災害に対する義援金の募集

- ネパール救援金 2 件 21,000 円
- 東日本大震災義援金 12 件 289,732 円
(累計 51,467,363 円)
- 台風 18 号大雨等災害義援金 3 件 79,718 円

② 災害に対する援護事業

火災被災者への対応 2 件（支給金品：見舞金、毛布、日用品）

(3) 赤十字救急法講習会の開催

開催日：平成 27 年 7 月 25 日・26 日・8 月 1 日

受講者：17 名

指導者：日赤救急法指導員

II. 総合相談・支援部門

1. 地域包括支援センター

1. 包括的支援事業

(1) 総合相談支援

① 総合相談窓口の設置

相談内容に応じたサービスや制度の利用支援・情報提供及び関係機関等の紹介等対応を行なった。

相談受付件数：平成 27 年度件 前年度 542 件 相談区分集計〈延べ件数〉

内 訳	介護・日常生活	サービス利用	医療	所得	その他	苦情	権利擁護	合計
件数	383	126	16	14	3	0	0	542

② 地域包括支援センターの周知・啓発

「社協だより」への掲載 平成 27 年度 4 回 前年度 4 回

「包括だより」の発行 平成 27 年度 4 回 前年度 4 回

③ 地域ケア会議の運営

他職種共同による個別ケースの支援を通じた（ア）地域支援ネットワークの構築（イ）地域の自立支援に資するケアマネジメントの支援（ウ）地域の課題の把握などを行った。〈平成 27 年度 9 件 前年度 12 件〉

(2) 権利擁護業務

① 高齢者虐待への対応・防止

(ア) 高齢者虐待相談窓口の設置

尾鷲市福祉保健課と協働で高齢者虐待についての相談窓口を設置し相談の対応を行った。

(イ) 高齢者虐待相談の受理

平成 27 年度受理件数 3 件（うち認定 0 件） 前年度 1 件

内訳	身体的	心理的	経済的	性的	介護放棄
人数	0	0	0	0	0

② 認知症高齢者への支援

(ア) 認知症サポーター養成講座

平成 27 年度 360 名 前年度 79 名



	開催月日	参加人数	場 所
第 1 回	5 月 29 日	32	尾鷲中学校 2 年 1 組
第 2 回	5 月 29 日	30	尾鷲中学校 2 年 2 組
第 3 回	5 月 29 日	31	尾鷲中学校 2 年 3 組
第 4 回	5 月 29 日	31	尾鷲中学校 2 年 4 組
第 5 回	6 月 12 日	17	尾鷲高校・家庭看護教室
第 6 回	9 月 19 日	51	輪内中学校
第 7 回	9 月 26 日	61	尾鷲中学校 3 年 1・2 組
第 8 回	9 月 26 日	62	尾鷲中学校 3 年 3・4 組
第 9 回	9 月 30 日	35	尾鷲警察署
第 10 回	11 月 10 日	10	生協 (COOP)

(イ) 見守りネットワークの構築

徘徊の恐れのある認知症高齢者を地域で支えるため、認知症高齢者の情報や対応方法を記載した「見守りお願いシート」を作成し、近隣や商店等に配布し個別の見守り体制を築く。

(ウ) 関係機関との連携

徘徊や迷子になる恐れのある認知症高齢者の情報を「認知症高齢者見守り連絡票」に記載し、尾鷲警察署に登録を行い、警察に保護されたあと速やかに自宅に戻せるよう支援する。

(平成 27 年度 2 件 前年度 2 件)

③ 福祉制度等の活用

(ア) 日常生活自立支援事業の活用

日常生活自立支援事業の利用調整（相談斡旋を含む）を行った。

(イ) 成年後見制度の活用

成年後見制度の利用援助（情報提供、申立支援、斡旋を含む）を行った。

(ウ) 出前講座の開催

平成 27 年度 4 回 前年度 6 回

開催日	内 容	参加人数	依頼先
5 月 14 日	①介護保険制度の改正点について ②ストレッチ、頭の体操	16 名	倉の谷サロン
10 月 8 日	感染症予防について	18 名	社協介護事業所
2 月 25 日	虐待の勉強会	26 名	社協介護事業所
2 月 28 日	住まいに関する勉強会	6 名	エスカルゴ
	合 計	66 名	

(3) 包括的、継続的ケアマネジメント支援

① 地域包括ケア会議の開催

尾鷲市から委嘱された委員により、介護予防・生活支援サービスや地域ケアの総合調整を推進するため、意見交換や検討等を行った。



	開催日	参加人数	内 容
全体会議	6 月 18 日	24 名	委員紹介 「地域包括ケアシステム構築に向けて」 講師：三重大学 大西 丈二先生 先進地視察の報告等
高齢者虐待早期発見ネットワーク会議	8 月 25 日 3 月 28 日	20 名 20 名	・虐待事例報告 ・行方不明者の相談がきた場合・SOSネットワーク構築に向けて
介護予防検討会議	11 月 27 日	8 名	・介護保険改正の概要 ・生活支援・介護予防の体制整備 ・シルバー人材センターの現状 ・地域福祉系の現状

② ケアマネジャー支援

居宅介護支援事業所連絡会議において事例検討及び研修会を開催しケアマネジメント力を高める取り組みを行った。

(ア) 居宅支援事業所連絡会議 (4回開催)

	開催日	参加人数	内 容
第1回	6月22日	27名	地域包括ケアシステム構築に向けて～ ケアマネジャーの役割 講師：関西福祉科学大学 小口 将典氏 種田 理太郎氏
第2回 紀北町 合同	8月19日	19名 尾鷲分	～「高次脳機能障害とは」～ 講師：藤田保健衛生大学 金森 理恵子氏 ～「高次脳機能障害の制度について」～ 講師：三重県身体障害者総合福祉センター 森 由美氏
第3回 紀北町 合同	11月17日	17名 尾鷲分	～「現場で働く面接技術」について～ 講師：関西福祉科学大学 小口 将典氏
第4回 紀北町 合同	2月18日	63名	在宅医療介護連携 事例検討会 在宅医の参加により在宅1事例、グループホーム1事例を検討

(イ) 居宅介護支援事業所のケアマネジャーからの相談対応

平成27年度 43件 前年度 42件

(4) 介護予防ケアマネジメント

介護予防事業、予防給付が効果的かつ効率的に提供されるよう、適切なケアマネジメントを行い、介護予防ケアプランの作成等必要な支援を行なった。

① 要支援1・2の介護予防支援

平成27年度 合計 2,397件 前年度 合計 2,773件

予防プラン作成および給付管理数

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
自機関分	149	145	144	140	128	131	
委託分	73	73	64	63	63	64	
合計	222	218	208	203	191	195	
認定者数	435	418	419	415	407	415	
利用率	51%	52%	49%	48%	46%	46%	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計

自機関分	130	120	118	119	122	128	1,574
委託分	72	69	74	71	70	67	823
合計	202	189	192	190	192	195	2,397
認定者数	417	422	416	418	415	411	5,008
利用率	48%	45%	46%	45%	46%	47%	47%

② 二次予防事業対象者への介護予防支援

尾鷲市が実施した65歳以上の方への基本チェックリストにより二次予防事業の対象となり事業に参加を希望された方への事業内容の説明、健康相談等を実施し事業の利用支援を行った。

(平成27年度 65件 前年度 86件)

事業内容	参加人数	備考
通所介護予防事業（運動器、うつ・認知症・閉じこもり予防）	52名	運動器・閉じこもり予防 うつ予防の複合プログラム
訪問型介護予防事業	0名	パンフレットを用いた運動指導
電話のみでの情報提供	11名	通所型二次予防事業の紹介 生活機能評価の説明
介護保険申請支援	2名	

2. 任意事業

(1) ケアプラン点検事業

紀北広域連合主催のケアプラン点検事業に主任介護支援専門員(2名)が2回参加した。

(2) 家族介護支援事業

要介護高齢者を介護する家族の精神負担の軽減と介護者同士の情報の交換を目的にした交流会の開催及び介護者及び介護職員を対象に介護技術についての研修会を開催した。



① 介護者の会の開催

(平成27年度 71名 前年度 64名)

	開催日	参加人数	内容
第1回	5月21日	4名	「認知症の理解と介護について」 講師：泉 美幸氏
第2回	7月16日	8名	アロマセラピー講座 講師：平山 美喜子氏
第3回	9月7日	7名	「認知症の理解と介護について」

			講師：泉 美幸氏 「ショートステイの利用について」 講師：川渕 早世利氏、楠 樹里氏
第4回	11月26日	29名	介護方法（実技）講習会 ユマニテク福祉大学 伊藤 幾代氏
第5回	1月21日	15名	排泄ケア講習会 講師：ユニチャーム
第6回	3月24日	8名	おしゃべり会 ランチバイキングにて交流会

② 福祉用具の利用支援

福祉用具の利用に関する助言や購入支援を行った。

福祉用具購入支援者（平成27年度 13名 前年度 15名）

③ 住宅改修の利用支援

住宅改修に関する助言や理由書等の必要書類の作成

住宅改修利用支援（平成27年度 30名 前年度 28名）

3. その他

(1) 研修会への参加

各専門職に対する研修会等

(2) 会議への参加

- 介護保険事業計画策定委員会
- 尾鷲市高齢者保健福祉計画策定委員会
- 地域包括支援センター運営協議会
- 三重県地域包括支援センター連絡会議
- 運営推進会議
 - 地域密着型小規模特別養護老人ホーム：1カ所
 - 認知症対応型共同生活介護：7カ所
- 養護老人ホーム入所判定委員会

(3) 定例ミーティングの実施（地域包括支援センター内での打合わせ）

- 新規相談ケースについての検討会
- 各自担当ケースについての報告・相談
- 各事業の進捗状況の確認及び調整

2. 紀北地域障がい者総合相談支援センター

1. 紀北圏域障がい者地域生活支援事業

(1) 相談支援事業

障がい者のライフステージに応じた地域生活を支援するために、福祉サービスの利用援助を身近な地域で行う。また、地域で安心できる生活を継続し、障がいの有無により分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しあいながら共生する社会を実現するという総合支援法の理念に基づいた相談支援を行う。

平成 27 年度の相談者実数は 330 名で平成 26 年度より 39 名増加した。地域に出向いた相談支援を目指した結果といえる。また関係機関と連携して支援を行うケースが増えており相談支援の体制も強化されている。

支援内容については、福祉サービスの利用に関する支援が多い。また不安の解消や情緒安定に関する支援も多く、特に精神障がいの方については地域資源が少ない地域であり支援センターでの電話相談が有効な支援方法の一つとなっている。障がい者就業・生活支援センターを併設し就労担当の相談員を配置していることもあり、就労に関する相談は多い。働きたい希望がある障がい者の方が地域で多く生活している現状が分かった。

① 障がい区分別 年間相談者実数および登録者数 単位：人

	実人員	身体	重症 心身	知的	精神	発達	高次脳 機能	その他
尾鷲市	194	24	4	70	48	40	2	6
紀北町	136	14	3	57	42	19	1	0
	330	38	7	127	90	59	3	6

② 支援方法別 相談延べ件数 単位：件

	訪問	来所 相談	同行	電話 相談	電子 メール	関係 機関	個別支 援会議	その他	計
尾鷲市	874	346	120	713	21	720	142	79	3,015
紀北町	693	162	67	628	62	271	70	54	2,007
	1,567	508	187	1,341	83	991	212	133	5,022

③支援内容（延べ件数）

単位：件

	のべ件数	尾鷲市	紀北町
福祉サービスの利用に関する支援	1,087	632	455
障害者症状の理解に関する支援	357	158	199
健康・医療に関する支援	353	193	160
不安の解消・情緒安定に関する支援	653	298	355
保育・教育に関する支援	78	57	21
家族関係・人間関係に関する支援	407	189	218
家計・経済に関する支援	200	108	92
生活技術に関する支援	150	53	97
就労に関する支援	932	502	430
社会参加・余暇活動に関する支援	664	413	251
権利擁護に関する支援	18	6	12
その他	462	246	216

(2) 紀北地域協議会の部会運営

平成 27 年度は当事者、家族参加型の 2 部会（暮らし部会、相談部会）と専門部会 2 部会（就労部会、こころ部会）の活動を行った。第 3 期紀北地域障がい者福祉計画にもとづき成果目標や数値目標を達成するため、具体的な活動を行った。また P D C A サイクルが機能するように評価方法も取り入れた。相談部会では「地域生活支援拠点」の設置にむけて、居住の場の整備を目標として障がい者グループホームについて検討した。こころ部会では地域移行についての取り組み、市町単独事業で三重県内初となる在宅援護事業が開始された。平成 20 年度から取り組んでいる防災については、避難訓練を 2 回実施した。圏域研修はヘルパースキルアップを目的として 2 回開催した。

障害者権利条約批准や障害者差別禁止法が制定されるなか障がい者の人権、権利擁護、虐待防止に取り組むため高齢者虐待の地域ケア会議に参加、成年後見制度等平成 28 年度の取組の基礎作りを行なった。

部会名	内 容	開催回数
合同部会	平成 27 年度の活動報告と反省。次年度の取り組みについて	1 回
くらし部会	テーマ「住みよい街作り」について街歩きマップの作成と、マップを活用した町歩きの実施	部会 5 回 町歩き 1 回
相談部会	「地域活動支援拠点」について地域活動支援拠点の基本イメージの共有。グループホームの見学。グループホームに関するアンケート実施と分析。建設予定地探しと現地確認。	部会 6 回 グループホーム見学 3 回 予定地確認 2 回
就労部会	就労移行支援事業所について地域で支える仕組み作り。利用期間取り扱いに関する紀北圏域のルール作成。訓練基本プログラム等の作成。移行支援事業所見学。就労系障害福祉サービス利用に係るアセスメントマニュアル作成。就労代表者会議、ステップ会議開催。	部会 6 回 代表者会議 2 回 ステップ会議 3 回 事業所見学 1 回
こころ部会	地域移行・地域定着について訪問看護開始に伴う周知。在宅介護事業の予算化とモデルケース実施。生活保護入院者への訪問。地域資源パンフレット作成。	部会 4 回

平成 27 年度 圏域研修

研修名	講 師	参加人数
ヘルパー実践講座 (実技の基本と応用)	ユマニテク医療福祉大学校 伊藤 幾代 氏	34 名
精神障がい者の支援について	三重県こころの健康センター 馬野 隆司 氏	37 名



平成 27 年度 避難訓練

開催日・場所	内 容	参加人数
平成 27 年 5 月 16 日	当事者活動中に地震が発生	当事者 19 名

尾鷲市	したことを想定。福祉保健センターから中村山へ避難。並んでパン等の物資を受け取る練習	支援者等 15名 ボランティア 5名
平成 27 年 11 月 29 日 紀北町	自動車専用道路避難場所への避難訓練。始神テラス防災倉庫見学。アルファ米物資受け取り訓練	当事者 21名 支援者 14名 ボランティア 10名



(3) ピアサポーター活動支援

今まで養成してきたピアサポーターが地域で暮らす障がい者に対して行う支援活動の体制づくりや助言を行う。平成 27 年度は尾鷲市林町会館と紀伊長島保健センター月 2 回行うすずらんサロン（日中の居場所作り）を中心に活動。

2. 就業生活支援事業

平成 27 年 1 月からは国の雇用安定化等事業である就業・生活支援センター事業を受託、障がい者の雇用の安定や実習先の開拓に取り組んだ。一般就労 16 名、実習 17 名の実績があった。

一般就労を希望する障がい者の方々の就労先が少ないのは変わらないが、就労支援の専任の職員配置によって、企業開拓や実習受け入れ事業所を増やすことが出来た。また、地域の関係機関、ハローワーク、福祉事業所等と連携も強化することができた。今後も障がいに対する理解を地域や企業に広めていき、一人でも多く障がい者の方々が地域の企業で働き、地域社会の中で安心した生活が送れるように支援を進めていく。

就労登録者

単位：人

登録者数	新規	継続	合計
	23	93	116
内訳 身体障がい	5	7	12
知的障がい	6	54	60
精神障がい	9	29	38
その他	3	3	6

今年度の就労実績

単位：人

障がい種別 1週間の 勤務時間数	身体		知的		精神	その他	計
		重度		重度			
一般（30時間以上）	1		1		5	1	8
20時間以上 30時間未満	1		1		0	2	4
20時間未満	1		1		2	0	4
計	3		3		7	3	16

市町別就労実績

単位：人

		合計	(内訳)			
			知的	精神	身体	その他（発達）
圏域合計		16	3	7	3	4
内 訳	尾鷲	10	3	6	1	0
	紀北	6	0	1	2	3

相談支援件数（内容別）

単位：件

内 容	身体	知的	精神	その他	計
就職に向けた相談支援	56	296	323	92	767
職場定着の為の相談支援	54	100	179	23	356
日常生活に関する相談支援	10	152	67	15	244
就業と生活に関する相談支援	12	94	76	90	272
計	132	642	645	220	1639

相談支援件数（手段別）

単位：件

センターへの来所（本人のほか、家族等も含む）	239
電話・ファックス・E-mail 等	568
職場訪問（定着支援のほか、職場実習支援を含む）	392
家庭・入所施設への訪問	81
その他（ハローワークへの同行訪問、各種手続きの支援、ケース会議への参加等）	359
計	1639

3. 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業

障がい福祉サービス利用に必要な計画作成を行なった。本人の思いを引き出し、サービス利用だけでなく、これからの生活についても一緒に考えながら支援を行った。

計画作成数 単位：件

	利用計画	継続支援
特定相談支援	106	374
障害児相談支援	4	12

4. 社会参加促進事業

(1) 音楽教室

尾鷲市福祉保健センターで開催。「癒やしの会」主催で音楽療法士福田先生に依頼して実施。

開催 12 回 延べ参加人数 162 名（尾鷲市 110 名 紀北町 52 名）

(2) フラワーアレンジメント教室

尾鷲市福祉保健センターで開催。

開催 12 回 延べ参加人数 158 名（尾鷲市 113 名 紀北町 45 名）

(3) 歩行訓練

生活訓練が必要な視覚障がい者に対して歩行訓練やパソコン・点字の指導を行う。

開催 12 回 延べ参加人数 29 名

(4) ウィークエンドサークル

休日の日中活動の場として実施。尾鷲市福祉保健センターを中心に行う。

開催 9 回 延べ参加人数 152 名（尾鷲市 87 名 紀北町 65 名）

(5) おもちゃ図書館

障がい児等の遊び場の提供や交流の場として実施。

おもちゃの貸出も行う。開催 12 回

(6) はあと畑

毎週月曜日、会員の昼食を作り、尾鷲市福祉保健センター1階ロビーを利用し、障がいのあるメンバーが接客を行いながら就労体験をする。

延べ参加人数 49名 (尾鷲市 12名 紀北町 37名)

(7) はあとの会

親子で療育活動を行う会のサポートを行う。

開催 7回 延べ参加人数 41名 (尾鷲市 21名 紀北町 20名)

(8) その他

尾鷲市、紀北町のスポーツ大会、紀北町の地域交流会、くろしお学園運動会、学習発表会等に参加した。

5. 日中一時支援事業

学校の夏休み、冬休み、春休みにおいて家庭外の居場所が必要な障がい児に対して日中一時サービスとして預かり保育を行った。

延べ人数 45名 (実人数 尾鷲市 4名 紀北町 1名)

6. 障がい児等療育相談支援事業

(1) 療育相談

療育の専門相談機関としての役割を持ち、地域で暮らす障がい児や家族の相談支援を行った。紀北地域における療育体制を強化するため、療育教室(すまいる教室)へのボランティアの協力、加配保育士の見学・参加、特別支援サークルの支援参加等、保育園との連携を充実させた。また個別支援会議や関係機関参加によるカンファレンスを行ない、丁寧な支援を行った。昨年度に引き続き動作法体験研修を定期的に開催した。

登録者 単位：人

登録者数		103
内訳	身体障がい	4
	知的障がい	25
	精神障がい	0
	その他	74

相談支援の内容 単位：件

活動内容	延べ件数	実人数
電話	49	22
来所	54	12
訪問	62	16
ケア会議	63	34

助言・利用調整	150	18
その他	45	11
合計	423	113

(2) 療育指導（すまいる教室）

療育教室（すまいる教室）を開催し、障がい児や発達の子どもの小グループによる療育指導を行った。発達の子どもの増加に伴いグループ数を増やし各グループ月2～4回、交流会を年2回行なった。親子参加を基本とし保護者の孤立を防ぎ相談や交流の機会となっている。社会資源が少ない地域の障がい児に専門職による専門療育の機会の提供として言語療法士による指導を月2回、「風の広場」による専門療育指導（言語療法士）を年4回行った。

参加状況

単位：人

	今年度		昨年度	
	実人数	延べ人数	実人数	延べ人数
尾鷲市	30	522	36	645
紀北町	8	78	8	75
合計	38	600	44	720



(3) 発達障がい児等の早期発見システムへの参加

尾鷲市の保健・福祉・教育の担当者からなる「チームおわせ」に参加し、保育所・幼稚園の巡回相談を行い個別支援計画の作成につなげた。保育所・幼稚園8箇所 延べ16回巡回した。その他、年13回の乳児健診委員会での支援対象児の把握や紀北町で開始された5歳児健診への参加協力、草の実健診への協力、特別支援学級担任、介助員の研修指導も行い紀北地域における、とぎれない支援の体制作りと関係機関との連携強化に努めた。

III. 介護サービス部門

1. 居宅介護支援事業所

介護保険の指定居宅介護支援事業所として、居宅での介護サービスやその他の福祉サービス、保健医療サービスが適切に利用できるよう、利用者自身の立場でその有する能力に応じて、自立した生活を送るための公正中立な支援を行った。

1. 業務内容

- 居宅サービス計画（ケアプラン）の作成
- 介護保険要介護・要支援認定申請代行
- 利用者、サービス事業者との連絡調整
- 介護に関する相談・助言
- 介護保険外の福祉サービスや福祉制度の利用援助
- 介護保険施設への紹介
- 国保連への給付管理及び介護報酬の請求（訪問介護・訪問入浴・通所介護）
- 介護保険要介護認定調査（委託）
- その他の苦情や問い合わせ

2. 住宅改修支援事業請求実績

事業名	平成27年度	前年度
住宅改修支援事業	1名	1名

3. 居宅依頼実績

増減数	平成27年度	前年度
居宅新規	90名	66名
居宅終了	65名	62名
※内訳（死亡）	28名	32名
（入所）	28名	23名
（移動）	9名	7名
予防給付 新規	7名	6名

4. 月別請求額

◇居宅介護

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	172	174	174	190	188	181
収入額	2,669,990	2,698,300	2,700,690	2,958,850	2,900,010	2,790,070

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
191	184	182	186	173	185	2,180
2,976,710	2,847,780	2,788,940	2,858,510	2,669,940	2,865,640	33,725,430

(前年度) 利用者人数(延べ) 2,083名 収入額 30,610千円

◇介護予防

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	14	13	11	14	14	13
収入額	58,400	55,900	47,300	58,400	58,400	55,900

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14	11	15	15	15	15	164
62,700	47,300	69,500	67,000	64,500	64,500	709,800

(前年度) 利用者人数(延べ) 154名 収入額 650千円

5. ケアマネジメントの質の向上を図る

(1) 週1回 居宅事務所内でのミーティング実施

- ・ サービス提供にあたっての留意事項
- ・ 困難事例ケース検討等

(2) 居宅介護支援連絡会や外部研修会への参加



2. 訪問介護事業所

「いつまでも自宅で過ごしたい」との思いに応えられるよう、ホームヘルパーが自宅を訪問し、日常生活上必要な支援を行った。7月より介護保険サービス、9月より障害福祉サービスにて特定事業所加算を取り始めたことにより、より綿密な申し送りを行い、ヘルパー個別の研修計画にそった研修を行うことで、事業所のレベルアップを図った。また高台に住まれる方の通院介助時の移動支援に地域の方の協力を得、有償ボランティアチームを結成した。



1. 訪問介護・介護予防訪問介護事業 (介護保険)

介護等が必要な方を対象に、自宅にホームヘルパーが訪問し、身体介護や生活援助のサービスを提供した。特定事業所加算、処遇改善加算の取得により前年度より収入額は増加した。

(1) サービス内容

- 身体介護：食事介助、入浴介助、排泄介助、体位変換、通院介助、その他身体介護
- 生活援助：調理、洗濯、買物、掃除、その他の家事援助
- 身体介護と生活援助の組み合わせ
- 通院等のための乗車または降車の介助

◇訪問介護月別実績

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	86	96	98	104	103	97
収入額	3,833,910	4,032,220	3,865,010	4,231,870	4,133,390	4,163,250

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
103	103	101	94	89	98	1,172
4,364,470	3,764,600	3,912,610	3,701,510	3,804,820	4,340,020	48,147,680

(前年度) 利用者人数(延べ) 1,101名 収入額 41,503千円

◇介護予防訪問介護月別実績

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	28	26	22	23	19	21
収入額	425,480	407,480	342,660	362,960	279,990	305,990
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
22	23	26	27	27	25	289
336,730	357,220	408,050	428,050	434,640	393,730	4,482,980

(前年度) 利用者人数(延べ) 320名 収入額 5,047千円

2. 障害者総合支援事業

(1) 障害福祉サービス

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの提供では、居宅介護、重度訪問介護、同行援護、移動支援、在宅援護の各事業を実施した。特定事業所加算、処遇改善加算の取得と前年度に引き続き相談支援センターの計画作成が充実していく中で、適正利用時間の増加と新規利用者があり、件数、収入とも増加した。

◇月別単位数（実績月）

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	34	30	37	37	37	33
収入額	1,122,180	1,109,660	1,253,790	1,313,200	1,282,650	1,301,480
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
40	37	37	38	36	37	433
1,473,480	1,473,540	1,316,910	1,281,590	1,135,430	1,421,130	15,485,040

(前年度) 利用者人数(延べ) 391名 収入額 11,656千円

3. 生活支援サービス「あんしん」(保険外サービス) と一般乗用旅客事業

訪問系サービスの介護保険外事業の一環として生活支援サービス「あんしん」、一般乗用旅客事業としてケアプランに連動した輸送と介護保険外の輸送を実施している。



◇あんしん月別実績

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	10	12	13	11	11	7
収入額	42,800	50,875	42,000	41,900	37,300	16,300

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
11	12	14	12	15	10	138
56,400	40,100	57,400	47,900	41,900	25,400	500,275

(前年度) 利用者人数(延べ) 174名 収入額 545千円

◇運行利用料月別実績

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	83	86	96	104	91	83
収入額	166,570	203,360	217,310	197,970	170,370	169,270

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
93	95	88	90	89	94	1,092
188,620	145,390	152,390	175,120	188,880	172,600	2,147,850

(前年度) 利用者人数(延べ) 1,112名 収入額 1,968千円

4. 研修会等参加状況

単位：名

研修名	参加人数
福祉有償運送運転者初任者講習	1
サービス提供責任者研修	1
接遇マナー研修	1
第1回腎臓セミナー	2
第2回腎臓セミナー	2
新人研修	2
介護実技指導研修①	2
介護実技指導研修②	5
応急処置講習会	11
救急講習会	1
おむつの当て方	12
腰痛予防体操	16
同行援護従業者養成研修	1
感染症のおはなし	9
耐性菌と標準予防対策について	2
スライディングボード実習	6
指導的職員研修	1
介護方法講習会（介護者の会）	15
脳梗塞による認知症について	5
ヘルパー実践講座「介護実技」	15
理学療法士によるトランスファー勉強会	3
精神障がい者支援の基礎知識	12
虐待の勉強会	13
在宅介護で役立つ介護ポイントレッスン	1



3. 訪問入浴事業所

1. 訪問入浴・介護予防訪問入浴

介護保険の指定訪問入浴事業所として、看護職員や介護職員、オペレーターによって主治医の注意事項を守りながら、利用者の身体状況に応じた安全で快適な入浴サービスを提供した。年間を通して新規利用者の申し込みが少なく、比例して利用者も減少しているため、前年度に比べ延べ利用人数、収入ともに20%減少している。要因は、利用者の施設入所や死亡によるところが大きい。

(1) サービス内容

- 血圧測定等の健康チェック ・衣類着脱介助
- 浴槽への移動介助 ・入浴介助

メリット

- 身体的負担が少ない
- 徹底した衛生管理
- 1チーム3名体制での手厚い介護
- 期待できるリハビリ効果



◇訪問入浴介護月別実績

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	12	12	12	10	12	11
収入額	683,430	700,400	712,960	633,760	687,830	650,110

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
12	10	11	8	9	9	128
725,550	562,090	687,820	590,390	578,430	667,710	7,880,480

(前年度) 利用者人数(延べ) 162名 収入額 9,779千円

4. 輪内通所介護事業所

要支援・要介護状態となった場合でも、自立した日常生活を送ることができるよう、障がい者も含めて日常生活上の世話や機能訓練を行うとともに、引きこもり予防や社会参加および介護をしている家族の負担軽減を図るために通所介護を実施した。



1. 通所介護・介護予防通所介護事業 (介護保険)

《サービス内容》

- 入浴サービス（特別機械浴、一人浴、一般浴）
- 送迎サービス
- 生活指導
 - ・健康チェック
 - ・レクリエーション
 - ・創作活動
 - ・運動器機能向上（個別機能訓練）サービス
- 食事の提供

（月別実績）

◇通所介護		単位: 件・円					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用件数	23	26	26	25	23	22	
収入額	1,787,099	1,854,187	1,887,350	1,615,550	1,505,009	1,343,245	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
22	21	21	22	22	23	276	
1,384,455	1,378,071	1,471,056	1,373,713	1,324,539	1,509,645	18,433,919	
◇介護予防通所介護							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用件数	7	6	8	8	10	8	
収入額	145,917	127,377	180,594	164,457	215,271	200,584	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
7	10	11	10	11	14	110	
182,044	253,801	314,724	239,724	274,401	346,158	2,645,052	
◇障がい者通所介護							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
請求件数	5	4	6	6	5	4	
請求金額	228,030	255,670	260,020	267,040	245,960	196,770	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
4	5	4	4	3	3	53	
203,800	210,830	203,800	182,710	147,580	147,580	2,549,790	

(前年度)	利用者人数 (述べ)	収入額
	通所介護	313名 24,307千円
	介護予防通所介護	83名 2,362千円
	障がい者通所介護	75名 3,195千円

2. 一次予防・二次予防の実施

尾鷲市から委託を受けている一次予防（にこにこ）として、市内在住で65歳以上の高齢者向けの介護予防に向けた取組が主体的に実施されるような地域社会の構築を目指し介護予防を実施し普及啓発に努めた。

二次予防（元気応援教室）として、要介護状態・要支援状態にはないが、そのおそれがある高齢者向けの要介護にならないことを目的とした通所型介護予防事業（運動器機能向上・うつ・閉じこもり・認知症予防を目的）の委託を受け、介護予防の実施および普及啓発に努めた。

（月別請求額）

一次予防							単位: 回・円
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開催数	16	16	15	19	12	16	
収入額	250,000	200,000	200,000	325,000	200,000	275,000	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
16	18	16	13	14	14	185	
350,000	300,000	300,000	300,000	300,000	350,000	3,350,000	
二次予防							
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開催数					5	5	
収入額					150,000	120,000	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
5	2	2	2	1	1	23	
120,000	150,000	120,000	120,000	120,000	120,000	1,020,000	

（前年度）	利用者人数(述べ)	収入額
一次予防	127名	2,300千円
二次予防	30名	1,080千円

尾鷲市から委託を受けている一次予防事業について、地域住民からの要望を受け、尾鷲市福祉保健課と協議し、週2回実施を7月から週3回に増やすことができた。

地域住民が、住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、その一翼を担うことに繋げた通所介護事業の使命が達成できた。

5. 尾鷲通所介護事業所（デイサービスいきいき）

1. 通所介護・介護予防通所介護事業（介護保険）

(1) 通所介護・介護予防通所介護

介護に頼らない自立した生活を目指し、運動器の機能向上ための事業を実施。器具を使った運動、器具を使わない運動など積極的に取り組んだ。研修会（デイサービス協議会）に参加すること等により事業所全体の質の向上に取り組んだ。

① サービス内容

〈共通サービス〉

- ・ 身体の介護・支援に関すること（排泄、移動など）
- ・ 生きがい生活支援（レクリエーションなど）
- ・ 送迎サービス
- ・ 日常生活における相談・助言

〈選択的サービス〉

- ・ 入浴サービス（通所介護）
- ・ 個別機能訓練サービス（通所介護）
- ・ 運動器機能向上サービス（介護予防通所介護）

◇通所介護月別実績

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	16	15	17	21	20	19
収入額	615,730	629,210	755,770	845,250	724,950	705,610

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
23	19	22	21	22	28	243
823,380	760,060	701,430	664,900	769,520	956,400	8,952,210

（前年度） 利用者人数(延べ) 183名 収入額 7,222千円

◇介護予防通所介護月別実績

単位：件・円

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用人数	25	25	24	23	16	17
収入額	579,730	579,730	551,710	543,770	414,460	431,290

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
17	18	17	23	22	22	249
431,290	468,100	448,970	634,470	615,340	633,020	6,331,880

（前年度） 利用者人数(延べ) 249名 収入額 6,019千円

2. 一次予防・二次予防の実施

(1) 一次予防

尾鷲市から委託を受けて、市内在住で65才以上の人を対象に介護予防に対する啓発に努めるとともに、介護予防サービスを実施した。

(2) 二次予防

要介護状態・要支援状態にはないが、そのおそれがある高齢者向けのサービスや予防のための運動器機能向上に努めた。

単位：件・円

開催数/金額	4月	5月	6月	7月	8月	9月
一次予防	18	16	18	8	9	8
	450,000	400,000	450,000	200,000	225,000	200,000
二次予防	0	0	0	1	8	9
				30,000	242,700	273,200

10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
9	12	12	12	12	13	147
225,000	300,000	300,000	300,000	300,000	325,000	3,675,000
9	8	9	7	8	10	69
271,800	241,200	271,200	211,600	243,600	301,600	2,086,900

(前年度)	開催数	収入額
一次予防	113回	2,825千円
二次予防	65回	1,969千円

(3) 新年交流会の開催

日時：平成28年1月26日（火）

参加人数：いきいき利用者及び一般市民 81名

（要介護者、要支援者、一次予防・二次予防利用者ほか）

(4) 防災訓練の実施

日時：平成27年12月8日から 5回実施

内容：利用者の避難誘導及び避難経路の確認

（尾鷲市中央公民館に避難）

IV. 輪内高齢者サービスセンター

1. 輪内高齢者サービスセンター

1. 社会福祉協議会の分室機能

輪内地区の福祉の向上を図るため、次のような事業を行った。

(1) 社協業務の受付窓口としての機能

- ① 福祉相談窓口業務として相談を受け、市や介護保険関係事業所との連携を図った。
- ② 輪内地区における募金事業の窓口として事業を推進した。

5月 日赤募金 10月 共同募金

(2) 台風接近により高齢者サービスセンターを避難所として開設した。

台風接近により避難所開設回数 2回 避難者無し

(3) 施設の適正な管理・運営に努めた。

2. 輪内地区食の自立支援事業（市委託事業）

生活支援型配食サービスとして、週3回（火、木、土）、「食事を作ることが困難な高齢者」を対象に、食事内容の検討及び調理を行い各家庭へ配食した。

対象地区	輪内地域 (梶賀、曾根、賀田、古江、三木里、三木浦)
登録者数	31名
延べ配食数	3,867食
事業費	2,358,850円
(うち市補助分)	(812,050円)

地区別登録者内訳

(梶賀 2、曾根 5、賀田 9、古江 13、三木里 2、三木浦 0)

3. 輪内地区あったか弁当事業（自主事業）

平成21年度から、食事を作ることが困難で、市の配食サービスの対象とならない住民に対して自主事業としての配食サービスを実施した。梶賀町で年間72食の配食を行った。

